

令和2年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 2

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営
ビジョン

○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。
— かしこく やさしく たくましく —

〈徳 育〉

○ よい行いを考え、行動し、互いに思いやる子どもの育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
徳 育	1 自主的・自発的な態度の育成	○清掃へのとりかかりはよくなってきたが、無言清掃については今後も継続して指導していく。 ○各行事が中止・縮小され、高学年の活躍の場が減ったが、朝のボランティア等の取組を進んで行っていた。	3	3.2	・清掃は引き続き習慣づけてほしい。 ・無言清掃に力を入れるようお願いしたい。
	2 基本的生活習慣の形成	○あいさつ、廊下歩行について繰り返し指導が必要である。 ○返事・整理整頓は意識して取り組む姿が見られた。 ○危険な行為が見られた場合は、必要に応じて緊急の全体指導を行ってきた。	2	2.8	・登校中にもよく自発的にあいさつができています。 ・近所の子どもは、登下校時はよくあいさつをしている。 ・小学校では整理整頓がしっかりできている。家庭や児童クラブではどうだろうか。 ・自発的にあいさつや返事ができる子は少ないように思う。言われたからするのではなく、自然とあいさつや返事ができるように家庭との連携が必要である。 ・返事整理整頓は、来年度の取組を期待する。
	3 問題行動（いじめ・不登校等）の未然防止と早期発見・早期解決	○全職員で共通理解を図ってはいるが、具体的な手立てを考えていく必要がある。 ○Q Uテストの分析後の変容を見ていく必要がある。	3	3.5	・学校の対応が十分である。 ・ごっこ遊びがエスカレートして気付かないうちにいじめにつながっているように思う。境目がわからないのではないだろうか。
	4 道徳教育・人権教育の充実	○児童への人権教室、教員への人権研修は充実していた。 ○学級活動年間計画の見直しをしていく。	3	3.2	・学校の対応が十分である。 ・コロナウイルスの問題で、人権ということを身近に感じることができていると思う。

